

ありたい姿

- 4つの地域のつながりを活かした地域の活性化(おおまつり)



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	公共施設を使ったイベントの開催 (由木東市民センターを利用した習い事、展示会)
		若者(大学生)を巻き込んだイベントの開催
	交流の場	地域内交流(4地域)に寄与するイベントの開催 (祭り、フリーマーケット、スポーツ大会、音楽コンサート、盆踊り、グルメイベント、地域別の自慢大会、ウォークラリー、宝探し・自慢大会、ラジオ体操、農業体験等)
		地域外交流(隣接地域との交流)
意見交換の場	各地域(4地域)のメンバーによる話し合い	
2	見守り・支え合い	買い物サポートサービス
3	子ども・子育て	子どもとママが集まれる憩いの場
		子どもの会の活動促進
	多文化共生	子供向けの多国籍・多文化交流(英会話など)

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	大学・学生との連携	大学・学生との連携
5	産業振興	商店街を核にした地域活性化

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	花火大会 (地域住民:花火大会にあわせた催し 行政:許可)
	意見交換の場	地域全体(4地区)で話し合う場を設定 (参加者:地域住民、行政、団体など 調整:行政)

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域人材の育成	地域を担うリーダーシップの育成
4	交通インフラ	交通整備(バスルートの拡充、コミュニティバスの運営)

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報(発信、共有、デジタル化)	デジタル掲示板(地域内の情報共有)
		市民活動を支援する情報の発信、講演会等の開催
	行政運営	行政による住民の意見・ニーズ等の把握(住民アンケート、協議の場を設ける、相談窓口の設置等)
		行政が市民、各団体のまとめ役を担う

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	医療や交通等の広域課題について、他地域の行政と共有・連携
3	スポーツ・文化・生涯学習	放課後に利用できる子ども教室の運営
4	安全・安心	防犯カメラや街灯の拡充
5	産業振興	遊休スペースを活用した市民農園等の設置

校区の特徴

- 「地域主体」&「すぐにできる」が多く挙げられ、地域が主体的に課題解決に取り組む意向がある。
- 地域全体での交流、地域コミュニティの醸成を重視する意見が多くあった。
- 行政に対しては、団体間のパイプ役、市民活動の支援、地域情報の共有ツールの整備などを求める声があった。

ありたい姿

- 子どもから高齢者まであらゆる世代が つながる ~自然に学び自然とともに生活できる、健康で生涯学べる町づくり~
- 自然、歴史、文化を守りながら、誰もが集い、助け合える思いやりの街♥別所♥



ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域全体にあいさつ運動を拡大 既存の地域活動同士の連携、ネットワーク化
	地域の拠点づくり	コミュニティカフェ、コミュニティスペースの開設・運営
	地域人材の育成	地域まきこみ型になれるボランティア隊募集
	情報（発信、共有、デジタル化）	まちの魅力マップの制作やSNSでの魅力発信
	交流の場	子ども・高齢者・外国人などだれもが同じようにコミュニケーションできる場づくり
2	見守り・支え合い	子ども食堂・大人食堂・フードパントリーの開設・運営
3	子ども・子育て	学びの格差をなくすべく、「学童寺子屋」の創設
	スポーツ・文化・生涯学習	「歴史」勉強会の実施 近くにミニ図書館の開設
4	公園・緑地	公園案内マップの制作、公園スタンプラリーなどの企画
	安全・安心	地域の安心のため、シルバーパトロール隊の結成

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	情報	「別所テレビ」の開設・放映
3	スポーツ・文化・生涯学習	魅力ある（オシャレなど）地域学習の場づくり
		「別所地区版」市民講座の開催
5	産業振興	人が集まる道の駅の設置

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	世代間を越えた地域の人が集まる会議体の定期的開催
	情報（発信、共有、デジタル化）	堀之内・別所地区のまとめサイト（SNS）の発信（雇用・コミュニティ・店舗情報・イベント情報など）
3	スポーツ・文化・生涯学習	歴史と文化を共有する機会づくり
	学校・教育	学校と地域をつなぐ学校コーディネーターの育成 各学校に地域サポーター登録制度の導入（地域の人協力できる）
4	公園・緑地	公園めぐり・散策の行事化
6	自然・環境	子どもたちの環境学習の支援体制づくり

○「協働」&「時間がかかる」

意見なし

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
2	医療・健康	別所地区での“健康の日”設定、行事の実施
	見守り・支え合い	シニア・学生・他ボランティアサークル（有償・無償）の創設
	暮らしの相談	別所「いのちの電話」の設置
3	スポーツ・文化・生涯学習	健康で生涯学べる町づくりの推進
		地域の伝統であるメカイづくりを学ぶ
		学びの拠点となるような郷土資料館の充実
		出張バス型図書館の開始
		メカイを無形民俗文化財の指定へ
	学校・教育	学校公開日を増やす・図書館の開放
5	雇用・就労	短時間勤務の雇用の創出
6	自然・環境	環境保全活動団体の育成・支援
		自然に学びながら、自然との共生を推進

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	堀之内駅前に市民センター開設（役所手続、図書館、相談、会議室、交流、ボランティア）
		各学校に地域活動用の空き教室確保
	大学・学生との連携	「いちょう」塾を再編し、八王子大学構想の実現（市内の各大学を自由に行き来できるなど）
	情報（発信、共有、デジタル化）	無料で集まることができる場所などの情報をまとめるなど、住民に必要な情報があつまる仕組みづくり
3	スポーツ・文化・生涯学習	市民講師・市民ファシリテーターの養成
	学校・教育	小・中学校での地域学習の見直し（保護者、PTA、地域の方のサポートを増やす）
4	防災	駅前に防災関係を含む様々な情報を得ることができるインフォメーションセンターの設置
	交通インフラ	多摩モノレールの延伸、はちバスの設置 住民（子ども、高齢者、身体弱者）が安全に歩ける道の整備、自転車と歩行者を分離するための自転車専用道路の設置、バリアフリー化

校区の特徴

- マンションも多く、子育てなどに関して地域の人を借りたいという思いもあるが、地域の人をあまり知らないという声があった。また、地域の担い手が高齢化してきているため、多世代によるつながりの創出や顔見知りの関係になることを求める声があった。
- 地域学習や生涯学習など、学びに関する意見が多くあった。
- 歴史や民俗・風土、伝統文化継承を守り、それを若い世代に教えつなげていきたいという声が多くあった。

ありたい姿

- みんなが幸せになるつながり
- 自然豊かな公園を核にしたコミュニティ = つながりのみえるまち



★ 2グループで共通して挙げられた意見

ありたい姿の実現に向けて必要なこと

○「地域主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域コミュニティ	地域会議を開催し、地区の未来のストーリーを作る（子供も参加）
		多世代で参加できるイベント・祭りの実施（背景の周知）
		テーマ別のウォーキング会（自然、歴史、植物、木など）
	地域の人材育成	コーディネーターや地域学校協働活動推進員+αの連携
	交流の場	公園を使った多世代の居場所づくり（ゲートボールなど）★
2	見守り・支え合い	困りごとを知る・支えるための勉強会・ワークショップの開催
4	防災	防災訓練の実施

○「地域主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	公園・緑地	公園にカフェやビアガーデンを開設（大学生や高齢者、子供と一緒にいられる場）

○「協働」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	交流の場	地域の団体がつながるための連絡会
		小中学校にカフェスペースを設置し交流の場に
		長期休暇中の校舎を開放しイベント実施
		子供と年配の方々との知識交流会
6	自然・環境	自然環境を残すための専門知識・ボランティアの協働

○「協働」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
4	公園・緑地	オープンテラス付きのカフェの設置（長池公園、松木公園）

○「行政主体」&「すぐにできる」

都市像	分野	必要なこと
1	行政運営	行政が持っている・知っている先進事例の共有
2	見守り・支え合い	ボランティアしやすい場の創出（ボランティアセンターの活用・窓口の明確化）
4	公園・緑地	蓮生寺公園の整備（利用しやすい環境整備、展望台の復活）

○「行政主体」&「時間がかかる」

都市像	分野	必要なこと
1	地域の拠点づくり	プチ公民館・プチ児童館の設置
	行政運営	市民活動への活動場所の提供、資金補助
4	公園・緑地	常設のプレイパークを設置（子供が自由に遊べる場）
		公園に自由に立ち寄れるカフェ（持ち込み自由）を設置
5	企業（誘致、支援、連携）	企業との連携
6	自然・環境	自然に関する相談窓口の設置

校区の特徴

- 豊かな自然のある公園などを活かした取組に対する意見が多くあった。
- 地域内でのつながりの希薄化に課題意識があり、つながるしくみづくりに対する意見が多くあった。
- 新たに転入された方や、古くから住む方が混在する地域であり、地域住民や地域団体の連携に対する意見があった。